

回覧

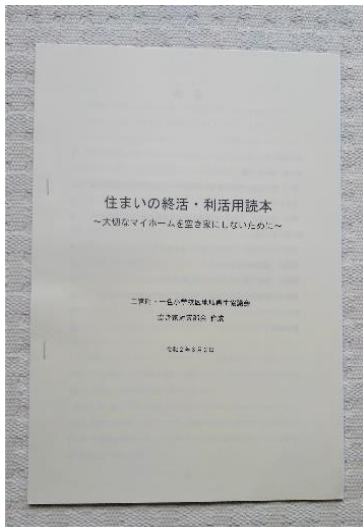
地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

住まいの終活・利活用読本を制作

空き家対策部会、希望者に配布へ

「空き家を出さない街づくり」に取り組む空き家対策部会（廣上正市部会長）が、「住まいの終活・利活用読本ー大切なマイホームを空き家にしないために」を制作した。この2年間にわたって開いてきた利活用講座のエキスを綴じ込み冊子に再編集した。住民との接触機会の多い地区長、自治会役員、民生委員に配布して活用してもらうほか、希望者には無料で手渡しする。



読本は A4 判、30 頁。薮健夫氏（元県住宅供給公社専務理事）中心に編集を進め、100 部印刷した。制作費は国交省の助成金を充てた。内容は副題の「大切なマイホームを空き家にしないために」に沿って高齢者の人生設計の見直し、健康と住まいの関係など課題別に整理した。第1部では「住まいの終活」、第2部ではライフプラン、健康寿命、リフォーム、利活用や相続対策を取り上げた。利活用講座の講師が提示した図表を随所に組み込んでいる。特に最近広がりつつある「住まいの終活」はていねいに取り

上げ、その概念整理、開始時期、手順などを解説し、「元気なうちから準備する」ことの重要性を説いている。

この読本は令和元年度事業の中で制作し、2年度中の講座、講演会などで活用する。自治会役員など地域活動の主力メンバーや関心を持つ個人には無料で配布する。必要に応じて増刷を検討中。
(入手を希望される方は協議会事務所まで)

カラー冊子「友情の山の山野草たち」

増刷決定ー町外の注文約 100 冊に

3 月半ばに発行したカラー冊子「友情の山の山野草たち」（80 頁、500 円）の増刷が決まった。二刷りは初版と同じ 500 部。発刊以来、



タウンニュース、読売新聞に取り上げられたところ、購入の申し込みが相次ぎ、販売部数は 400 冊近くに達した。最近では横浜、藤沢など町外の申し込みが多く、対応に大わらわだ。

「友情の山の山野草たち」は一色小裏山（友情の山）での3年にわたる植生調査をベースに、二宮町の樹木や野草の全体像を図鑑風にまとめた冊子。百合が丘在住の植物愛好家、ライター、デザイナー、写真愛好家が編集した。完成後、一色小、教育委員会、図書館などに寄贈するとともに、協議会 HP や回覧で紹介し、販売してきた。

売れ行きに火が付いたのは、3月末のタウンニュースの紹介記事。これを見た町内、大磯町の住民から電話が数多くあり、協議会事務所のほか、百合が丘児童館にも受け渡しの窓口を設けた。この冊子を使った講演会や観察会が中止になったこともあってその後は伸び悩んでいたが、読売新聞が神奈川版で取り上げた5月半ばから再び申し込みが殺到。協議会の電話は鳴りっぱなしだ。横浜、川崎など町外からの注文が多くを占め、この1週間余りの申込数は100件近くに達した。中には複数冊の購入希望もあり、町外購入者に対しては郵便局の定額小為替やレターパックで対応している。

増刷は月内に発注し、3週間ほどで仕上がる見込み。初版の訂正を反映させ、索引も手直しする。協議会では、この冊子が「一色小地区だけでなく、二宮町を含めた西湘南一帯の植生や草木名をわかりやすくまとめたハンディ図鑑」である点をPRし、さらに多くの方に利用してもらいたいとしている。

販売場所は協議会事務所と百合が丘児童館(いずれも火、金曜午前中)

ブログ寄稿者募集!!

協議会とITクラブが運営するにのみや地域情報（略称にのっち）中の「まちかどブログ」の寄稿者を募ります。「まちかどブログ」はにのっちの目玉企画の一つです。町内のあちこちのちょっとした話題、知らせたい・知ってもらいたい話、楽しく元気の出る話題を随時、写真付きで掲載するコーナーです。

具体例は、にのっちを開いて見てください。

現在のところは寄稿者が限られており、もっと多く、バラエティーある話題を載せるねらいからライターを増やします。寄稿文字数は400字以内、1、2枚の写真付き（必ず）。

コミュニティを元気にするコーナーづくりに、ぜひ手を上げてください。

問合せ、投稿先は isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp 0463-59-9356(火・金曜午前)

のぞいてみよう!! にのっち(にのみや地域情報)

街の身近な話題 イベントがすぐわかる <https://nino-community-info.com/>